

研究会での指摘事項・課題への対応メモ

1 開示資料としてのバランスシート等の充実

- 新しい「財政のすがた」を今回試作。9月議会での公表に向けて準備中。ホームページにも9月中に掲載予定。
- 議会における決算、予算審議の補足資料、予算編成の参考資料として活用可能な時期に公表。目標設定と達成度についての分析、経年比較、他都市比較、注記の充実などに配慮。
- 総務省改訂版の4表を今回試作。連結バランスシートも総務省の作成指針ができ次第作成。

2 フロー、ストックにかかる財政指標の導入

- 新財政計画に活用予定の新たな財政指標については、座長提案の「財政指標のあり方」をもとに継続して議論。
- 新しい「財政のすがた」に資金繰りと償還能力にかかる指数を掲載。
- 決算統計別表の充実、経常の区分は、座長提案の資料に基づき、作業を予定。

3 事業別施設別バランスシートの活用

- 施設別バランスシートの試案を今回作成。事業の対象の考え方を今回提示。
- P D C A サイクルへの対応として、計画体系と予算体系の整理や評価システムの構築、事業別財務諸表の活用について、次回議論。

4 公有財産台帳の整備

- 公有財産台帳の段階的整備については、総務省研究会へ提案中。
- 普通財産の評価を現在作業中。一部は今回の総務省改訂版の4表に活用。

5 会計基準

- 会計基準及び未確定債務の取扱を前回に引き続き今回及び次回に議論。
- ワーキンググループにおいても総務省の研究会報告、東京都の会計基準の活用の可能性を研究中。

6 システム開発

- ワーキンググループにおいて他都市や民間における開発の現状を研究中。
- 行政経営基幹システムの検討会議において、本年度中に新公会計システムの仕様を作成し、平成19年度からシステムの設計開始。

7 職員意識の改革など

- 民間的な会計手法の理解と職員の意識改革を目指して、平成19年度から体系的な職員研修等の実施を計画中。